



入に、子どもたちが人形劇を見つけていました。本から人形劇の保護者らが脚本を手作りで楽しんでいるのです。毎年好例となつた人形劇は、今年は小学生まですべて手作りで行つていています。子ども達は大喜びで見ました。



小学校などで人形劇を披露



▲岡部町小児部では、市内四ヶ所に設置された掲示板で、区内に掲示板設置を行つてきました。このほど掲示板をいざに交流の場ともなります。



▼おいしくて安全な米を市内の中山間地域から提供することで、教育的効果や生産者の意欲を増大しようと、学校給食に地場産米を導入することを決めました。市長の立ち会いのもと、市農協・県経済連との間で、共給に関する覚書を締結しました。四月からは、市内全小学校・幼稚園で週三回（国府・稻生小は週五回）米飯給食が実施されます。

「学校給食に地場産米を」農協・経済連と覚書を締結



頑張れ中学卒業就職生

▲ことしの市内四中学校を卒業する四百二十八人のうち、いち早く社会へ旅立つ十人の卒業生を励ます会が、三月四日、市役所大会議室で開かれ、浜田市長、連額教育委員長、西森教育長らが出席し激励しました。これに対し生徒を代表して、山本一平君（香南中）が、自立への道に歩む決意とお礼を述べました。この励ます会は、「中学校進路指導監修会」が毎年行っているものです。



からくり創造工房に恐竜が

▲からくり人形の復元作業の拠点「からくり創造工房」に3月7日、恐竜が登場しました。これは、(有)西洋鉄工が最新の技術を使って製作したもので、子どもたちに夢と希望を与え、さらに科学する心や創造性をはぐくもうと、同社から寄贈されたもの。また一つ工房のシンボルが増えました。



自慢の踊りでお年寄りと交流

▲2月19日、長岡地区婦人会のメンバーが土佐清風園を訪問、自慢の踊りを披露。毎年恒例になつた訪問に、お年寄りらは、和やかな雰囲気の中、次々と繰り広げられる踊りに拍手っていました。



ほろ酔い気分で熱戦展開

▲2月23日、市民体育館を会場に土佐はし拳全日本選手権競技場が開かれました。日本はし拳全国協会などの主催で、ことしが18回目。

大会は3人1組の団体戦と個人戦が行われ、市内外から参加した男女拳士約300人が壇の上で向き合って、威勢よく声をかけながら手を差しだし、自慢の腕を競いました。



これが男性料理の醍醐味だ

▲2月23日、男性料理講習会が中央福祉館で開かれました。長岡西部公民館の主催。当日は、日ごろから料理することに手慣れている人、いない人、総勢20人が集まり、食生活改善事業の一環として初めての実施。周りで不安げに見守る女性にアドバイスを受けながら、特製カレーライスにチャレンジしました。



川をきれいに

▲3月1日から、周辺の「川千」川約400人が三月二日、藻川・藻川の住民らが掃除を行いました。参加一齊舟入らごみ袋など手に、清掃者十やをは空き缶などにかかつたごみを拾い集めました。



♪明かりきつけましょ♪



幼年消防クラブです

▲「私たちは絶対に火遊びはしません」と、火災予防週間中の3月7日、おそろいの大きく「防火」と書かれた法被を着て、吾岡保育園幼年消防クラブ員40人が、後免町商店街のパレードと笛笛演奏をして、市民に火災予防を訴えました。また、前日の6日には、ひまわり幼稚園幼年消防クラブ員64人も防火普及演奏を行いました。



日本海はすぐそこに

▲松江市～高知市間(300km)を自転車で横断する「ツールド中四(ゆい)ライン」が、約200人の参加で、タスキリレーをしながら3月1日と2日に開催されました。

このイベントは、西日本連携幹事会の主催で、3月15日に中国自動車道の岡山・北河間が開通し、太平洋と日本海が高速道路で結ばれるのを記念して行つたものです。



ことしの夜桜見物にぜひどうぞ

◀後川公園（前浜橋横）沿いでは、平成元年から植えられた桜の木が見事な花を咲かせるようになりました。そこで、大湊史談会は夜桜見物のために、三月初めからほんぼりを作製しています。高さが七十センチほどある大きなもので、ことしは十個ほど作る予定です。三月下旬には、ほんぼりで灯がつき、夜十時ころまで点灯するそうです。



車には気をつけて

▲3月7日、交通安全母の会などは、卒園児を対象とした交通安全教室を後免町・長岡東部保育所で開催しました。園児たちは、紙芝居や脳話術に大喜び。その後、母の会員の手づくりキーホルダーが送られました。